



医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 通信 第66号



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

3月に入り、寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになってきましたね。桜の便りももう間近かもしれませんね。

三寒四温、気温の寒暖差が激しくなる季節です。みなさま体調管理に気を付けて春の訪れを楽しみましょう。

第71回ワーキング会議(2/14)

草津市立まちづくりセンター



参加者 26 名で行いました。

〈参加職種：医師・看護師・保健師・薬剤師・介護支援専門員・医薬品関係者・行政等〉

今回のワーキングでは、リハビリテーションと地域共生社会についてお話しいただき、地域共生社会の実現：誰もが暮らしやすい社会に向けてどうしていくとよいか話し合いました。

「地域共生社会」の実現に向けて(当面の改革工程)【概要】

平成28年12月1日 厚生労働省「我が国・丸ごと」地域共生社会実現本部決定

「地域共生社会」とは

●制度・分野ごとの「縦割り」や「受け手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が国」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

改革の背景と方向性

公的支援の「縦割り」から「丸ごと」への転換

○個人や世帯の抱える複合的課題などへの包括的な支援
○人口減少に対応する、分野をまたがる総合的サービス提供の支援

「我が国・丸ごと」の地域づくりを育む仕組みへの転換

○住民の主体的な支え合いを育み、暮らしに安心感と生きがいを生み出す
○地域の資源を活かし、暮らしと地域社会に豊かさを生み出す

改革の骨格

地域課題の解決力の強化

- 住民相互の支え合い機能を強化し、公的支援と協働して、地域課題の解決を試みる体制を整備【29年制度改正】
- 複合課題に対応する包括的相談支援体制の構築【29年制度改正】
- 地域福祉計画の充実【29年制度改正】

地域を基盤とする包括的支援の強化

- 地域包括ケアの理念の普遍化。高齢者だけでなく、生活上の困難を抱える方への包括的支援体制の構築
- 共生型サービスの創設【29年制度改正・20年報酬改定】
- 作育村の地域保健の推進機能の強化、保健福祉構造的な包括的支援のあり方の検討

「地域共生社会」の実現

- 多様な担い手の育成・参画、民間資金活用促進、多様な職労・社会参加の場の整備
- 社会保険の枠を超え、地域資源(耕作放棄地、環境保全など)と丸ごとつながることで地域に「価値」を生み出す。先進的取組を支援

地域丸ごとのつながりの強化

- 対人支援を行う専門資格に共通の基礎課程創設の検討
- 福祉系国家資格を持つ場合の保育士養成課程・試験科目の一部免除の検討
- 専門人材の働き方強化・最大活用

実現に向けた工程

平成20(2007)年・介護保険法・社会福祉法等の改正
●市町村による包括的支援体制の創設
●共生型サービスの創設 など

平成20(2008)年
●介護・障害者福祉政策・共生型サービスの評価など
●生活困窮者自立支援制度の創設

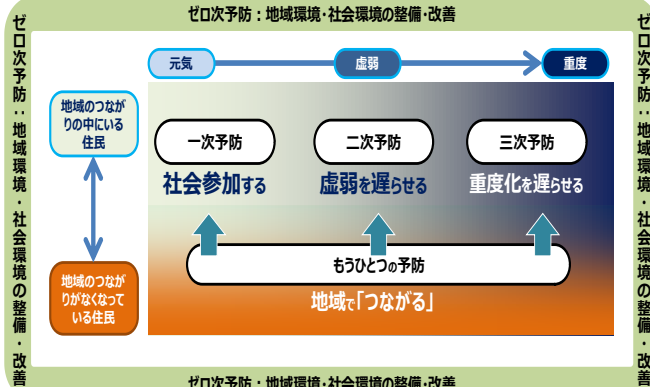
平成21(2009)年以降
●要する制度見直し
●全業展開

2020年代前期
●全業展開

【検討課題】

①地域課題の解決力強化のための体制の全国的な整備のための支援方策(制度のあり方を含む)
②保健福祉行政構造的な包括的支援のあり方
③生涯基礎課程の創設 等

地域共生社会の実現・地域包括ケアシステムの構築



＜地域包括ケア研究会報告書＞2040年に向けた挑戦-【概要版】

地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業

平成 28 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2017

グループワーク

- ・家族の中で役割を持つことが地域共生社会の出発。
- ・個人として自分の目標設定し努力し、それが社会貢献につながっていくとよい。
- ・人それぞれ生活環境は違うし価値観の違いもあるが、そうゆうことに左右されずに認めあうことができれば共生社会に近づいていくのではないかと。

- ・リハビリして、これからどう生きたいのか考えることが大切だと感じた。
- ・それぞれの違いを認め合うということが大切。違いを認めるってむづかしい。
- ・違いを違いと分かった上で、それを排除するのではなくて許しあえる社会が生きやすいのではないかと。

地域共生社会・誰もが暮らしやすい社会に！
私たちの未来をみなさんで作っていきましょう！

～2019年度の地域創造会議の活動に向けて～

今年度も地域包括ケアに関連したテーマに在宅ケア・各制度に関する学習や各地域や個人の実践をご紹介いただき情報共有し、それぞれの活動の場で参考にいただけるよう、意見交換を行いました。次年度のワーキンググループでこの人に、この活動、この場所で など皆様の「聞きたい」「知りたい」「知ってほしい」の募集をしていますので事務局にお寄せ下さい！！

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局
TEL077-528-3529 FAX:077-528-4851
E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp



次回のワーキンググループ会議

日時：31年3月28日(木) 18:30-20:00
場所：滋賀県庁 北新館 3階 中会議室
●「今年度の地域創造会議の振り返り&交流会」
参加希望の方はメールでお申し込みください。

